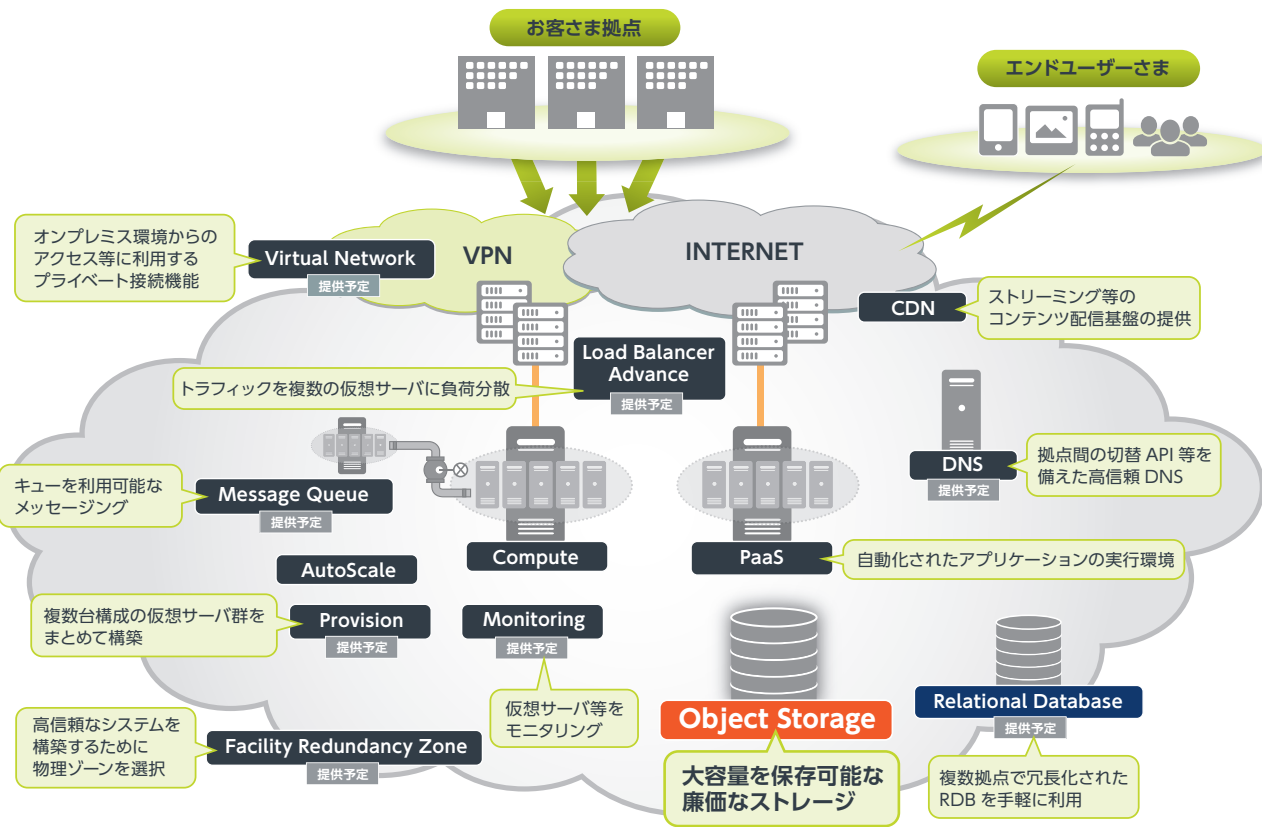


お客様ニーズに応えるための様々なサービスのライナップを用意



NTTコミュニケーションズが提供する Biz ホスティング Cloud[®] は、月額上限額 945 円からの低価格で豊富な API を備え、拡張性が高くソフトウェア開発者やグローバルに展開するコンテンツプロバイダー等に最適なパブリッククラウドサービスです。



クラウドファンについて

日本と米国を開発拠点とするクラウドファンは、パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミス環境でハイブリッドに活用できる SDS (Software Defined Storage: ソフトウェア定義ストレージ) である「Cloudian HyperStore」をソフトウェア製品及びアプライアンス製品により提供しています。国内外大手プロバイダー、エンタープライズが採用する Cloudian HyperStore は、複数データセンター間を含み、データ複製・分散配置によるデータ保護をしながら、汎用サーバ 2 台からペタバイト超級にまで経済的に、柔軟にスケールアウトします。統計・課金・管理機能も実装済みであり短期間に利用開始できます。



クラウドファン株式会社

www.cloudian.jp | info@cloudian.com



NTT コミュニケーションズは Amazon S3 互換、スピード感、コストの最適バランスに加え開発力と技術サポート力を評価

NTT コミュニケーションズ (以下、NTT Com) は、「Biz ホスティング Cloudn (クラウド・エヌ)」のオブジェクトストレージ・サービスに、S3 互換クラウドストレージ製品、Cloudian HyperStore を採用しました。NTT Com は、Cloudian HyperStore の S3 互換性の高さ、短期間で導入できるスピード感、低コストでオブジェクトストレージが構築できるという特長の最適バランスに加え、クラウドファン社の開発力と技術サポート力を高く評価しました。



Biz ホスティング Cloud[®] は Cloudian HyperStore を採用し オブジェクトストレージの提供開始

“オブジェクトストレージは、大きな収入機会であるだけでなく、クラウド・コンピューティング市場で最も速く成長するセグメントのひとつです”

NTT Com が提供する Biz ホスティング Cloud[®] は、月額上限額 945 円からの低価格で豊富な API を備え、拡張性が高くソフトウェア開発者やグローバルに展開するコンテンツプロバイダー等に最適なパブリッククラウドサービスです。2012 年 3 月 30 日に仮想サーバーを時間課金で提供する仮想コンピューティング・サービスの提供を開始し、オートスケール機能、CDN 連携機能を順次追加し、同年 10 月 29 日、拡張性と堅牢性を備え、最低で月額 7.35 円 /GB という低価格で利用できるオブジェクトストレージ・サービス、Object Storage の提供を開始しました。

この Biz ホスティング Cloud[®] のオブジェクトストレージには、クラウドファン社が開発した Amazon S3 互換のクラウドストレージを構築できるパッケージソフトウェア製品、Cloudian HyperStore が採用されました。この資料では NTT Com が Cloudian HyperStore 採用にあたり高く評価したポイントについて紹介します。

スピード感と機能のバランスが最適だった

NTT Com は、Biz ホスティング Cloud[®] の計画段階から、仮想コンピューティングとオブジェクトストレージをクラウドサービスの柱にすることを考えていました。そして、仮想コンピューティング・サービスを 2012 年 3 月に開始し、その半年後となる同年 10 月にオブジェクトストレージ・サービスを導入する計画を進めました。

NTT Com では、このサービスを支えるオブジェクトストレージ・システムを構築するため、オープンソースを含め、いくつかの製品を比較検討していきました。その結果、製品検証から商用環境テストを経てサービス提供開始までが数カ月間というスピード感を満たせる製品は、Cloudian HyperStore だけでした。

それは、国内外の商用実績が豊富で、統計・課金・管理・監視機能をはじめ、サービス提供に必要なパーツがあらかじめパッケージ化されたソフトウェア製品だからです。加えて、Cloudian HyperStore は S3 の互換性が高く、クラウド環境に最適なオブジェクトストレージとして他製品よりも優れていました。現場の設計・開発リーダーとして Cloudian HyperStore 導入を推進したクラウドサービス部ホスティングサービス部ホスティング&プラットフォーム部門担当課長 大野理望氏は次のとおり話しています。

“スピード感と、S3 互換性の高さをはじめとする機能のバランスの良さが Cloudian HyperStore を採用した最大の理由でした。”

「Biz ホスティング Cloud[®] を提供開始する 2012 年 3 月以前から、国内外で商用実績のある Cloudian HyperStore は候補のひとつ



NTT コミュニケーションズ株式会社
クラウドサービス部
ホスティング&プラットフォーム部門
担当課長
大野 理望氏

でした。同年 6 月のロードマップで、オブジェクトストレージ・サービスの提供開始を 10 月と発表し、導入準備を本格化しました。この短期間でサービス提供開始に至ることができるスピード感と、S3 互換性の高さをはじめとする機能のバランスの良さが Cloudian HyperStore を採用した最大の理由でした。」

業界最安値水準はソフトウェアだから実現できた

Cloudian HyperStore は、低コストの汎用サーバーをハードウェアとして使うソフトウェア製品です。Biz ホスティング Cloud[®] では、ハードウェアとソフトウェアが一体の高価な専用ストレージ装置を利用することは当初より検討外でした。それは、汎用サーバーの価格は年々低下しながらも性能は上がるため、より安く良い製品に



NTTコミュニケーションズ株式会社
クラウドサービス部
ホスティング&プラットフォーム部門
パブリッククラウド担当主査

林 雅之氏

置換し続けることで長期的にコスト低減ができるからです。また特定のベンダーに縛られるベンダー・ロックインを避けるという点も重要でした。

このように高価な専用ストレージ装置に依存せず低コストでオブジェクトストレージを構築したことに加え、サービス提供のためのあらゆるコストを削減することで、トラフィック課

金無料も含め業界最安値水準を実現しました。この業界最安値水準で Biz ホスティング Cloud[®] を提供するという方針について、クラウドサービス部ホスティング&プラットフォーム部門パブリッククラウド担当主査 林雅之氏は次のように語っています。

“業界最安値水準を訴求することが重要でした。”

「Biz ホスティング Cloud[®] はクラウド市場の後発であり、業界最安値水準を訴求することが重要でした。特に Biz ホスティング Cloud[®] は、高い品質と料金という印象をもたれる、これまでの NTT Com のサービスとは全く異なるビジネスモデルです。お客様にお申し込みいただければ、すぐに利用できるインバウンド型でもあり、新しい市場と顧客層をターゲットにしています。」

ソフトウェアでオブジェクトストレージを構築する利点は低コストだけではなくではありませんでした。クラウドという環境に最適な選択なのです。クラウドサービス部ホスティング&プラットフォーム部門パブリックサービス担当 森岡康高氏は次のように語っています。

“ソフトウェアでオブジェクトストレージを構築できるという点は、クラウドのような変化が激しい環境ではたいへんに有効だと感じました。”

「Cloudian HyperStore のトレーニングでは、Biz ホスティング Cloud[®] の仮想コンピューティング・サービスを使用し VM 上に Cloudian HyperStore を構築し、その操作運用方法を学びました。このように VM 上でも稼働できるソフトウェアでオブジェクトストレージを構築できるという点は、クラウドのような変化が激しい環境ではたいへんに有効だと感じました。」



NTTコミュニケーションズ株式会社
クラウドサービス部
ホスティング&プラットフォーム部門
パブリッククラウド担当

森岡 康高氏

Cloudian HyperStore の開発力と技術サポート力を高く評価

NTT Com は、世界でも有数規模のデータ量を想定しクラウドストレージ・サービスを提供する計画です。この大量データを複数データセンターに分散して格納し、仮に一部のサーバー障害やデータセンター倒壊といった事態があったとしても、データを消失することなくサービス継続できる堅牢性を絶対条件としています。そのため、サービス導入に先立ち、あらゆるケースを想定した厳しいテストを繰り返しました。クラウドファン社は、この要望に応えるため、世界有数規模のデータ量にも対応できるよう追加機能を開発し、同時に過酷な条件のテストを通じて発見される課題を速やかに解決してゆきました。クラウドサービス部ホスティング&プラットフォーム部門パブリッククラウド担当主査 金田正哉氏は、クラウドファン社の技術者と共に働いた経験を次のように語っています。

“クラウドファン社は日本と米国のエンジニアが一緒になって、素早く課題を解決していきました。”

「クラウドファン社は日本と米国のエンジニアが一緒になって、素早く課題を解決していきました。また、当社の要望に応えた革新的な追加機能についても Cloudian HyperStore のロードマップを柔軟に変更しながら、すぐに開発に着手しました。この開発力と技術サポート力により、予定通りにサービスを提供開始することができたと考えています。」



NTTコミュニケーションズ株式会社
クラウドサービス部
ホスティング&プラットフォーム
サービス部門
パブリッククラウド担当主査

金田 正哉氏

S3 互換のメリット

Cloudian HyperStore の S3 互換性の高さは、数多くの面で Biz ホスティング Cloud[®] にメリットをもたらします。すでに S3 に対応するアプリケーションは多数あります。それらのアプリケーションの多くは、改修し接続試験をするといった手間も不要で Biz ホスティング Cloud[®] を利用することができます。このメリットに加えて、多くの情報が公開され、経験が共有されていることが、最前線のエンジニアにとっては大いに役立ちました。先に紹介した森岡康高氏と金田正哉氏は次のように語っています。

“アーキテクチャがブラックボックスではないという点も深く理解するうえで助かりました。”

「S3 については多数の情報が公開されています。Cloudian HyperStore の検証においては、公開情報や他のエンジニアの経験を知ることで、効率的に検証作業を進めることができました。こういった情報をフルに活用できるのも、Cloudian HyperStore の S3 互換性が高いためです。そして、Cloudian HyperStore は利用実績が多いオープンソースを活用し、そのアーキテクチャがブラックボックスではないという点も深く理解するうえで助かりました。」

エコシステムの充実とグローバル展開をすすめる

今後の Biz ホスティング Cloud[®] は次頁の図に示すようにお客様ニーズに応えるための様々なサービスのラインアップを充実する計画です。

また、Biz ホスティング Cloud[®] が仮想コンピューティング・サービスに採用した CloudStack と Cloudian HyperStore の連携は、お客様の使い勝手向上につながります。このようにサービスの利便性を高めることで、多くのアプリケーションや開発者にとっての魅力を高め、Biz ホスティング Cloud[®] と Cloudian HyperStore のエコシステムをより豊かなものとしてゆく考えです。先に紹介した林雅之氏は次のように語っています。

“市場全体を大きく広げられるよう、コミュニティ活動を活発にしていきたいと考えています。”

「今後は、Cloudian HyperStore と協力し Biz ホスティング Cloud[®] を多くの利用者に理解いただくと同時に市場全体を大きく広げられるよう、コミュニティ活動を活発にしていきたいと考えています。」

さらに、NTT Com は「グローバルクラウドビジョン」に基づき革新的で高信頼の ICT サービスをグローバルシームレスに提供するため、世界中に所有するデータセンターとネットワークを活用しグローバル規模でクラウドを展開する計画です。今後の展開につい

て先に紹介した大野理望氏は次のように語っています。

“Cloudian HyperStore の米国と欧州における商用実績は、Biz ホスティング Cloud[®] のグローバル展開に大いに役立つと期待しています。”

「Biz ホスティング Cloud[®] のオブジェクトストレージ・サービス、Object Storage は、次には米国、そしてアジアに展開することになるでしょう。クラウドファン社がグローバルに事業展開していることに加え、Cloudian HyperStore の米国と欧州における商用実績は、Biz ホスティング Cloud[®] のグローバル展開に大いに役立つと期待しています。」

まとめ

Cloudian HyperStore は、S3 互換性の高さ、スピード感、低コストの最適バランスにより NTT Com に選択されました。これらの製品メリットに加え、クラウドファン社の高い開発力と技術サポート力が高く評価されています。そして今後は Biz ホスティング Cloud[®] のエコシステムの充実とグローバルなクラウド展開への貢献も期待されているのです。